

基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

－イメージビジョン－



地域の環境、さらには地球規模の環境をよくするため、世代や職業、地域の枠を越えて、多くの人や団体が連携して活動しています。

また、子どもたちも、「めぐろ」に愛着をもち、都会にありながら自然とのつきあい方を身につけています。

人々は、環境に与える負荷を十分に認識して、ごく自然に環境保全に取り組んでおり、多様なツールから環境に関する情報を得て、発信しています。

転入した人々も、子どもや地域との関わりの中で、「めぐろ」の環境について学び、環境にやさしい暮らし方を賢く選択しています。

こうした将来像を目標に、環境への気づき、意識改革、行動の変化をもたらす、学習や体験の機会を増やし、日常生活の中で環境に関する情報交換や活動ができる、環境コミュニティを醸成していきます。

また、環境学習等に参加した人々が、地域の環境活動や人材育成に携わっていく仕組みを構築し、区民の環境意識の向上を図ります。

基本目標

基本方針

施策の目標

3
環境を守りはぐくむ人づくり

3-1
人を育てて
行動を促す

3-2
人のつながりを
育てる

3-1-1 環境教育・学習の推進

3-1-2 環境情報の提供

3-1-3 人材や活動団体の育成

3-1-4 事業者の取組の促進

3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

3-2-3 地域を越えた広域的な連携


3-1 人を育てて行動を促す






【実現に向けた考え方】

環境にやさしいまちをつくるためには、環境保全の大切さや環境問題の現状を知り、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を身につけ、定着させることが重要です。

そこで、環境学習の推進、環境情報の提供により、区民一人ひとりの環境問題に対する関心を高めます。また、積極的に区の環境保全に関わる人材や活動団体を育成し、活躍の場を提供することで、区民の環境意識や参加意欲の向上を図ります。

<指標の評価>

 : 目標値を達成
  : 目標値に近づいている
  : 目標値に近づいていない
 - : 現状値を把握していない

指標項目 〔環境指標〕 取組指標	基準年度	基準年度末 時点実績値	2015 (平成27) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
環境推進員養成講座修了者数 (累計値)	22	63人	158人	263人	
環境保全活動参加経験率 ^{※1}	24	5.8%	7.1%	2012 (平成24)年度 実績+10%	
環境に関する情報提供の満足度 ^{※2}	24	11.0%	16.5%	2012 (平成24)年度 実績+10%	
めぐろ笑エネトライの参加者数 ^{※3}	27	22名	22名	増加	-
めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)の新規認定件数	22	1件	1件	増加	
区ホームページ ^{※4} (もっと知りたい環境のこと)アクセス数	23	697	201	増加	

※1 環境に関するアンケートの間「区で行っている環境保全に関する取組みへの参加経験」に対し、どれかに参加したことがあると答えた人の割合。

※2 環境に関するアンケートの間「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合。

※3 めぐろ笑エネトライは、めぐろグリーンアクションプログラム普及版を改訂した事業。

※4 <http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>
トップページ>キーワードから知るめぐろのこと>学ぶ>もっと知りたい環境のこと

【2015(平成27)年度の成果】

- ・ 環境推進員養成講座を開催し、2015(平成27)年度の受講生29人のうち12人が修了生となり、着実に数値目標に向けて増加しています。
- ・ めぐろ笑エネトライの参加者数は22名、4か月の取組みで前年比1%削減を達成したのは5名でした。一方、めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)の新規の認定は1件で、更新認定は20件でした。

3-1-1 環境教育・学習の推進

《目黒区環境学習実行プランにおける環境学習の推進》

環境学習分野の事業の進行管理を計画的に行うため、2014(平成26)年3月に、目黒区環境基本計画の基本的な考え方に沿い、目黒区環境学習実行プランを改定しました。

目黒区環境学習実行プランは、区内に在住・在勤・在学・在活する区民や事業者を対象に、「気づき」を促すことから始め、環境保全の取組み方を身につける「知恵づくり」、さらに環境保全活動に積極的に関わる人材をはぐくむ「人育て」へと、環境学習への「啓発」を積み重ね、環境学習活動の充実や行動を促すことを目指します。

【2015(平成27)年度の達成度と評価】

目黒区環境学習実行プランの改定により、達成状況を毎年点検し、数値目標を定めない計画についても評価できるように、人づくりを重視した環境学習評価シートにより自己評価します。

2015(平成27)年度について、施策の目標ごとに次のとおり達成度を評価します。

【達成度A】計画目標を上回った

【達成度B】計画目標を達成した

【達成度C】計画目標を一部達成した

【達成度D】計画目標を達成していない

基本目標1 <良好な生活環境を守りはぐくむ>

1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす	達成度
・有害化学物質に対する情報収集や啓発	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 有害化学物質の使用について、東京都環境確保条例に基づいて報告を求める通知を送付し、全ての対象事業場からの報告を受けて東京都に報告した。 また、対象事業場に排出抑制につながる情報提供や啓発を実施している。	

1-2 みどりあふれるまちで暮らす	達成度
・みどりのまちなみ助成	B
・駒場野公園での体験型環境学習の推進	B
・区民農園	B
・収穫体験農園（じゃがいも掘り）	B
・収穫体験農園（ぶどう狩り）	B
・自然通信員の育成	B
・ピオトープ事業	B
・自然とみどりの普及啓発パンフレットの作成・配布	B
・落ち葉ソク事業	B
・自然観察教室の開催（いきもの発見隊）	B
・巣箱モニター	B
・花とみどりの学習館の緑化普及・ボランティア養成事業	B
・公園活動登録団体等の支援	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 ボランティア団体や学校等、多様な主体と協働して実施し、めぐろ区報やホームページを活用して積極的に広報活動を行い、事業の普及啓発を図った。また、自然やみどりと触れ合うことができる機会を設けることによって、生物多様性について知識を深めることを重視した。 今後は、更に持続可能な社会づくりを地域に定着させるための取り組みを目指す。	

1-3 安らぎのあるまちをつくる	達成度
・目黒川クリーンアップ大作戦	B
・ポイ捨て禁止啓発	B
・落書き消去活動支援	B
・ボランティア清掃活動団体支援	B
・環境美化推進団体支援	B
・区内文化財めぐり	A
・歴史資料館運営	B
・古民家運営	B

〔評価コメント〕

計画について、目標どおり達成することができた。

「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という意識のもと、スイーパーズ活動や町会によるガム取り活動を行い、地域住民と協働した清掃活動を実施した。

今後も引き続き、区報やホームページ等で広報活動を実施することで、より多くの参加と活動の普及啓発を目指す。

基本目標2 <ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ>

2-1 ものを大切にす地域社会をめざす	達成度
・環境学習の充実（子ども向けパンフレット、啓発品の作成・配布）	B
〔評価コメント〕	
計画について、目標どおり達成することができた。	
小学校と連携して事業を実施し、子ども向けのパンフレットを作成して区内小学生へ配布した。	
今後は、2016（平成28）年3月に改定した「目黒区一般廃棄物処理基本計画」に沿い、さらに「めぐろ買い物ルール」の周知などに取り組んでいく。	

2-2 地球にやさしい地域社会をめざす	達成度
・エコ住宅の啓発（住宅リフォーム資金助成）	B
・エコ住宅の啓発（住宅修築資金融資あっせん）	B
・新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成	B
・地域まちづくり活動への情報発信・支援	B
・商店街、街路灯のLED化支援事業	B
・地球温暖化防止月間、省エネの啓発、ヒートアイランド対策	B
〔評価コメント〕	
計画について、目標どおり達成することができた。	
区民や区内信用金庫の協力のもと、環境に負荷の少ないエネルギー利用を促進するためにエコ住宅の普及・啓発を行った。講座を開催する際には、参加者と共同で企画することによって、参加者の視点を取り入れ、より多くの参加を得られるように工夫した。	
支援・助成対象機器の見直しを含め、効果的な事業の執行に努め、環境に負荷の少ないエネルギー利用を促進することができた。	

基本目標3 <環境を守りはぐくむ人づくり>

3-1 人を育てて行動を促す	達成度
・ふれあい指導（依頼による出前環境学習、資源・ごみ処理の流れや分別）	B
・野外活動器材貸出（環境教育・学習の推進）	B
・中学生の自然体験授業（環境教育・学習の推進）	B
・自然宿泊体験教室事業の実施	B
・学校版グリーンアクションプログラムの定着・推進	B
・環境月間（環境学習の推進）	B
・環境学習（環境学習の推進）	B
・めぐろグリーンアクションプログラム（家庭版普及版）	B
・環境測定機器貸出（環境学習の推進）	B

・EMS（環境マネジメントシステム）研究会運営支援	C
・環境推進員養成講座（環境学習の推進）	C
・環境推進員ステップアップ講座・交流会（環境学習の推進）	B
・環境学習施設協働事業（環境学習の推進）	B
・消費生活講座（環境問題を考え、環境に配慮した消費生活の意識向上）	B
・めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）	B
・国際規格取得支援事業（ISO9000、ISO14000 シリーズの認証取得経費の補助）	D
〔評価コメント〕 計画について、概ね目標どおり達成できた。 環境への気づき、意識改革、行動の変化をもたらすことを目指し、学習や体験の機会を増やし、日常生活の中で環境に関する活動ができる人を育てていくための講座等を実施した。講座開催にあたっては、子育て世代や事業者を対象とする講座を開催し、参加者が家庭で話題にすることを通じて今後の具体的な実践に移すことなどを促した。 国際規格取得支援事業では、中小企業が国際規格認証取得のために必要な経費を一部助成しているが、計画に定めた目標を達成できなかった。事業活動の国際化を促進するために、今後も周知に努め、継続的に事業を実施する。	

3-2 人のつながりを育てる	達成度
・消費生活展（環境問題について考え、環境に配慮した消費生活の意識向上）	B
・エコまつり・めぐろ	B
・エコプラザまつり	B
・めぐろエコの森（宮城県角田市）整備事業	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 消費生活展等のまつりのイベントでは、リサイクル工作や小型家電の回収、フードドライブなどを実施して、参加者が環境について関心を持つきっかけとなるよう工夫した。 エコまつり・めぐろは、エコプラザの活用と周知を兼ねて会場を区民センターから田道ふれあい館に変更して実施した。地域に密着したイベントとして分かりやすく、参加者が楽しめるまつりを目指した。	

重点プロジェクト	達成度
・「節電からはじめるライフスタイルの転換」の推進	B
〔評価コメント〕 計画について、目標どおり達成することができた。 ホームページ「めぐろスマートライフ」を開設した。ホームページでは、“誰でも、楽しく、簡単にできる”をコンセプトに環境にやさしい行動を賢く選択する暮らし方を提案している。 今後は、区民や他の団体と、より一層協働してホームページの運営を行うことを目指す。	

《 環境学習機会の提供 》

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会・学習会を開催しました。

また、めぐろ笑エネトライを普及させることで、世帯単位での環境配慮への取組みを進めました。

＜環境学習の内容と参加人数＞

講座・講習会名	延参加人数
子育てママのエコ入門講座（14回）	親子846人
消費生活講座（3講座）	51人
消費生活展	延べ8,000人
めぐろ笑エネトライの参加者数	22人

《 学校等における環境学習の推進 》

学校における環境学習活動の充実を図るため、学校版めぐろグリーンアクションプログラムを区立小中学校全31校で継続して行っています。また、各校の取組みに対する支援としてアドバイザーを11校に派遣しました。

《 自主的な環境学習の支援 》

環境学習の一つとして、身近な環境測定機器（騒音計）の貸出しを行いました。また、生ごみの堆肥化活動の支援を行いました。利用回数は43回と減少していますが、区民の活動が定着してきました。



＜騒音計＞

《 エコプラザを活用した環境学習 》

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催しました。

2015（平成27）年度に開催した講座・講習会は、延べ46講座、3,105名の参加がありました。この取組みは、地域の団体、事業者、学校などと協働で企画運営しており、子どもたちの参加が増加しました。

＜環境学習の内容と参加人数＞

講座・講習会名	参加人数
連続講座「綿から学ぶ衣の循環」	36人
出前講座（小学校・老人いこいの家）	769人
子育てママのエコ入門	846人
修理コツコツ講座	141人
何でもつくり隊	1,231人
自然体験	12人
エコまつりめぐろ 2015 ステージ企画	70人



＜フードマイレージゲーム＞



＜昔遊びコーナー＞



2016（平成28）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ みんなで笑いながら省エネにトライする「めぐろ笑エネトライ」の普及に努めます。
- ◇ 区民等が自主的に行う環境学習・環境活動への支援を行います。
- ◇ エコプラザを活用した、省エネルギーやごみ減量に関する講座・講習会を開催するとともに、参加者層の拡大をはかります。また、活動室等を活用して、活動団体が定例で開催するリユース講座や包丁研ぎ講座等のリペア事業の開催を定着させます。

3-1-2 環境情報の提供

《 環境情報の一元化 》

2012（平成24）年3月に改定した目黒区環境基本計画の体系に基づき、2015（平成27）年度に実施した環境施策の状況及び評価を明らかにした環境報告書（本編・資料編・概要版）を作成し、区の施設で配布したほか、区ホームページ²²でも公表しました。

《 多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化 》

6月の環境月間に、総合庁舎西口ロビーで環境パネル展を行い、省エネ活動・ポイ捨て防止の啓発や、環境推進員などを紹介しました。また、ゴーヤの苗配布やエコドライブ疑似体験を実施しました。さらに、エコプラザニュースの発行（計12回）など広報紙の充実を図り、エコプラザの利用促進を図りました。さまざまな機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めていきます。

＜目黒区エコプラザ情報室の利用状況＞

利用項目	登録人数 ／利用回数
新規利用登録数	151人
活動室利用件数	463件
図書貸出件数	166件
不用品情報登録件数	345件
不用品のあっせん成立	70件

2016（平成28）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 目黒区環境基本条例に基づき、環境報告書の作成と配布を行います。
- ◇ 環境月間を周知するとともに、一人ひとりが身近な地域環境から考えるきっかけとなるようなパネル展などを実施します。
- ◇ 区ホームページに環境情報の積極的な掲載を行い、情報発信します。
- ◇ エコプラザのPR活動を強化し、利用促進を図ります。

3-1-3 人材や活動団体の育成

《 地域の環境配慮活動団体の支援 》

学校や団体からの要請により、テーマに沿った講師を派遣しました。

《 環境推進員等の育成・支援 》

2015（平成27）年度は、「地球温暖化ってなあに？ 今、私たちにできることは！」をテーマとして、環境推進



＜環境推進員等の育成・支援（十五庭）＞

²² http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa_hokoku/kankyo_hokoku/index.html
 トップページ＞行政情報＞統計・調査・報告＞調査・報告＞目黒区環境報告書（めぐろの環境）

員養成講座を開催し、環境保全活動のリーダーを育成しました。29人の受講生の中、12人が修了し、環境推進員となりました。

2016（平成28）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 目黒区エコプラザ事業として、環境推進員事業を実施します。環境保全活動のリーダーとして地域で活動する環境推進員を育成し、仲間づくりや実際に環境保全活動へ参加する機会を提供します。
- ◇ 地域活動団体・事業者団体に対して、活動の支援を行います。

3-1-4 事業者の取組みの促進

《 環境に配慮した事業活動の促進 》

めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進し、認定会を4回行いました。2015（平成27）年度は、新規の認定が1件、更新認定が20件ありました。

また、製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわるソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格であるISO9000並びに14000シリーズの取得に対して、費用の一部を助成しています。2015（平成27）年度は申請がありませんでした。

2016（平成28）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進します。
- ◇ 区内中小企業のものづくり事業を営む事業者に対し、国際規格取得支援事業を行います。



ぺんごろうじいさんからの一言

フードロス（食品ロス）について知ろう！

フードロスとは製造や販売の段階、家庭から出る食品廃棄物の問題です。日本ではまだ食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が年間約500t～800万tと推計され、世界全体の食料援助量の約2倍にもなります。驚くことに、この食品ロスのうち、約半分は私たちの家庭から出る食べ残しや賞味期限切れによる廃棄です。

近年、食品ロスの削減を目指し、食品を有効活用するためのフードバンク活動を行う団体も増えています。

目黒区でも、家庭にある食品を持ち寄り、食料を必要とする区内の福祉団体や施設等に寄付する「フードドライブ」が注目されています。

残さず食べる、買い過ぎない、調理に工夫をするなど一人ひとりができることを考え、フードロス削減に取り組むことが大切です。



＜食品ロス削減に向けた国民運動のロゴマーク＞



＜資料：2013年度 農林水産省調査＞

参考：農林水産省ホームページより

トピックス

めぐろグリーンアクションプログラムとは…

今、私たちの周りには地球温暖化を代表として様々な環境問題があります。この問題を解決するには、区、区民、事業者、学校がそれぞれの立場から環境に配慮した活動を行うことが必要です。

区では、家庭や事業所、学校において、地球温暖化防止のために具体的に行動するしくみとして、目黒区独自の環境配慮行動プログラム「めぐろグリーンアクションプログラム」をつくりました。このプログラムには、家庭版・事業所版・学校版の3種類があります。

家庭版めぐろグリーンアクションプログラム

住宅が多い目黒区では、各家庭における省エネが地球温暖化防止のキになります。家庭での取組みは、「地球にやさしい」だけでなく、電気代などの節約により「家計にもやさしい」効果があります。目黒区では、みんなで笑いながら省エネにトライする「めぐろ笑エネトライ」のパンフレット・エントリーシートを配布しています。一人ひとりが考え、自ら地球温暖化対策に取り組んでいくために、どうぞご活用ください。

チャレンジしたい個人の方は、環境清掃部環境保全課温暖化対策係まで。



めぐろ笑エネトライ

めぐろグリーンアクションプログラム事業所版

「めぐろグリーンアクションプログラム事業所版」は、環境に配慮した行動を行う区内事業者を応援するプログラムです。

チャレンジしたい事業者の方は、環境清掃部環境保全課温暖化対策係まで。

学校版めぐろグリーンアクションプログラム

学校版は、環境教育推進のための一つの手段であり、児童・生徒と教職員が一体となって、学校生活の中で継続的に省エネ・省資源活動や環境学習活動に取り組むためのプログラムです。区立小・中学校の取組みについては、教育委員会事務局学校運営課学事係まで。

WEB

詳しくは、区のホームページをご覧ください。

●家庭版（めぐろ笑エネトライ）

http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ondanka_taisaku/greenaction/katei.html

トップページ>くらしのガイド>自然・環境・ごみ>地球温暖化対策>めぐろグリーンアクションプログラム>家庭版めぐろグリーンアクションプログラム「めぐろ笑エネトライ」

●事業所版

http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ondanka_taisaku/greenaction/mgap_jigyosyo/index.html

トップページ>くらしのガイド>自然・環境・ごみ>地球温暖化対策>めぐろグリーンアクションプログラム>めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）

●学校版

https://www.city.meguro.tokyo.jp/kyoiku/gakko_kyoiku/gakushukatsudo/school_mega/index.html

トップページ>教育委員会>学校教育>学校教育 学習活動>学校版めぐろグリーンアクションプログラム

3-2 人のつながりを育てる

【実現に向けた考え方】

区内には、環境保全活動に熱心に取り組んでいる人や団体が多数存在しています。地域の環境保全活動をさらに活性化するため、エコプラザを拠点とした環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む人や団体同士の交流や連携を図ります。

また、区民・事業者・区のパートナーシップや他都市との連携により、各主体の協力が必要な取組みや、地域を越えた広域的な環境課題に対する取組みの効果を一層高めます。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成 😊: 目標値に近づいている 😞: 目標値に近づいていない —: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2015 (平成27) 年度末実績値	2021 (平成33)年度 数値目標 (目指す方向)	評価
目黒区エコプラザ登録団体数		22	8団体	6団体	38団体 (3団体/年)	😞
地球温暖化対策地域協議会開催回数		22	2回	2回	継続的な開催	😊
環境審議会開催回数		22	4回	3回	継続的な開催	😊

【2015（平成27）年度の成果】

- 目黒区エコプラザ登録団体数は、6団体で、2010（平成22）年度より減少しました。
- 地球温暖化対策地域協議会は2回、環境審議会は3回と継続的に開催しています。

3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

《地域の環境保全活動の普及および参加促進》

2015（平成27）年12月に、エコライフめぐろ推進協会と共催で、「エコまつり🍷めぐろ2015」を開催しました。参加団体数は33団体、来場者数は約850人でした。4回目となる今回は、「もったいない～つなげようエコの環（わ）～」をテーマに様々なブースが設けられました。目黒区内の環境活動団体や事業者等が環境問題に関する発表や展示等を行ったほか、区民と親しく交流する場ともなりました。家庭に眠る食品を寄付することで食品ロスを減らす「フードドライブ」のブースには、多くの食品が持ち寄られました。

また、地域の環境活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動や継続した取組みをしている区民・事業者・団体を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」は、2001（平成13）年度から開始し、今までに区民56人、50団体、10事業者の方が受賞しています。2015（平成27）年度は、1団体を顕彰しました。



<エコまつり🍷めぐろ2015>



<エコ・チャレンジ顕彰>

＜被顕彰者の取組み＞

被顕彰者（敬称略）	顕彰理由
森のみどり人 （モリノミドリスト）	長年にわたり、駒場野公園において里山的自然の保護に取り組み、また都会での貴重な自然体験の機会を区民に提供し、地域の環境保全と環境を守りはぐくむ人づくりに貢献した。

2016（平成28）年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 田道ふれあい館等で開催する「エコまつりめぐろ2016」について、支援を行います。
- ◇ 地域団体との連携、支援事業、地域活動協力者の養成を図ります。
- ◇ 環境負荷の低減や環境保全のために顕著な取組みを行っている区民、事業者及び団体等を顕彰し、地域における環境保全の取組み意欲を高め、環境と共生するまちづくりの推進を図ります。

トピックス

エコライフめぐろ推進協会とは…

1995（平成7）年、区民と行政が連携してリサイクルを推進する組織として「リサイクルめぐろ推進協会」が設立されました。その後、2005（平成17）年に環境全般に亘る事業を行う「エコライフめぐろ推進協会」へと改名し、環境問題に関する情報の普及・啓発や環境活動をする区民や区内事業者の支援を行っています。2006（平成18）年には、区の指定管理者となり、エコプラザの管理運営も行っています。

2016（平成28）年1月30日に、目黒区総合庁舎大会議室でルー大柴氏を講師に招き、年代を問わず、参加者が楽しみながら環境問題に意識を向けられる講演会を開催し、136名が来場しました。

今後は、環境問題に積極的に関心を持つ人たちだけでなく、一人でも多くの区民に環境にやさしいライフスタイルに関心を持ってもらい、様々な立場の人たちがつながっていけるネットワーク作りの拠点となる役割も期待されています。

WEB

<http://park15.wakwak.com/~meguro.3r/>

3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

《 区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進 》

協働による環境保全活動の推進に向けて、環境審議会を3回開催し、環境審議会では、各種計画改定についての審議や目黒清掃工場建替事業について報告等が行われました。専門委員会では、環境基本計画改定に向けた重点プロジェクト等の基本的な考え方の審議が行われています。

また、区民や事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を2回開催しました。協議会の中では、目黒区地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組みについて検討しました。

<環境審議会の開催内容>

回・開催日	主な議題・報告事項
第1回 2015(平成27)年 8月3日	1. 第7期目黒区環境審議会の主な議題内容について 2. 目黒清掃工場建替事業に係る環境影響評価書案に対する区長意見(案)について(意見聴取)
第2回 2015(平成27)年 11月4日	1. 目黒区環境審議会専門委員会の設置について 2. 目黒区環境基本計画の改定の基本的方向について 3. 平成27年度版めぐろの環境(環境報告書)の発行について 4. 目黒区一般廃棄物処理基本計画改定素案について 5. 目黒清掃工場建替事業に係る環境影響評価書案に対する区長意見について 6. 「目黒区みどりの基本計画」改定に向けた取組状況について
第3回 2015(平成27)年 12月14日	1. 目黒区みどりの基本計画改定素案について 2. 目黒区環境審議会専門委員会の委員について 3. 目黒清掃工場建替事業に係る環境影響評価手続きについて

2016(平成28)年度に実施する主な施策の内容

- ◇ 環境審議会や地球温暖化対策地域協議会を開催します。
- ◇ 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」に基づき、二酸化炭素排出量やエネルギー消費量の削減に向けた取組みを推進します。

トピックス

目黒区地球温暖化対策地域協議会とは…

区民、事業者、地域団体、学校、区など、幅広い分野の代表者がメンバーとなり、2006(平成18)年12月に設立されました。2007(平成19)年度に「地球温暖化防止目黒行動宣言」を実施したほか、2008(平成20)年3月末策定の「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の改定について検討しました。今後も、地域が一体となって地球温暖化防止の取組みを進めるため、さまざまな啓発活動を行っていきます。

WEB

https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ondanka_taisaku/tiikiyogikai/index.html
 トップページ>くらしのガイド>自然・環境・ごみ>地球温暖化対策>
 地球温暖化対策地域協議会

3-2-3 地域を越えた広域的な連携

《 他地域との連携による取組みの推進 》

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット²³を展望した事業の一つとして、2010（平成22）年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。

2015（平成27）年度は、めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草等の刈り払いを2回行いました。さらに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。



＜めぐろエコの森＞

2016（平成28）年度に実施する主な施策の内容

◇ めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、下刈作業を行います。

トピックス

平成28年度目黒区住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成のお知らせ

目黒区では、区内の各家庭において環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策を推進するためにCO₂排出量の削減に配慮した新エネルギー及び省エネルギー機器を自宅に設置される方に対して、経費の一部を助成しています。

＜助成対象機器及び対象となる機器設置時期等＞

助成対象機器	対象となる設置時期	助成額	助成額の上限
太陽光発電システム	平成28年1月1日から12月31日まで	機器本体価格の3分の1以下	10万円
家庭用燃料電池システム	平成28年1月1日から12月31日まで	機器本体価格の3分の1以下	5万円
家庭用蓄電システム	平成28年4月1日から12月31日まで	機器本体価格の3分の1以下	5万円
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器	平成28年1月1日から12月31日まで	機器本体価格の3分の1以下	3万2千円
HEMS（家庭用エネルギー管理システム）	平成28年1月1日から12月31日まで	機器本体価格の3分の1以下	2万円
マンション共用部LED照明	平成28年1月1日から12月31日まで	機器本体価格の3分の1以下	15万円

WEB

手続きの流れや助成の対象、申込方法について詳しくは区のホームページをご覧ください。

https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ondanka_taisaku/taiyoukou.html

トップページ＞くらしのガイド＞自然・環境・ごみ＞地球温暖化対策＞

新エネルギー及び省エネルギー機器設置費の一部を助成します

²³ カーボン・オフセット：自らの温室効果ガス排出量を認識し、削減努力を行い、どうしても削減できない排出量をほかの場所での排出削減・吸収量等を購入すること又は活動等を実施することにより、その排出量の全部または一部を埋め合わせること。